

教育用NXTソフトウェア 光センサで色を調べる

○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日：2011/05/06

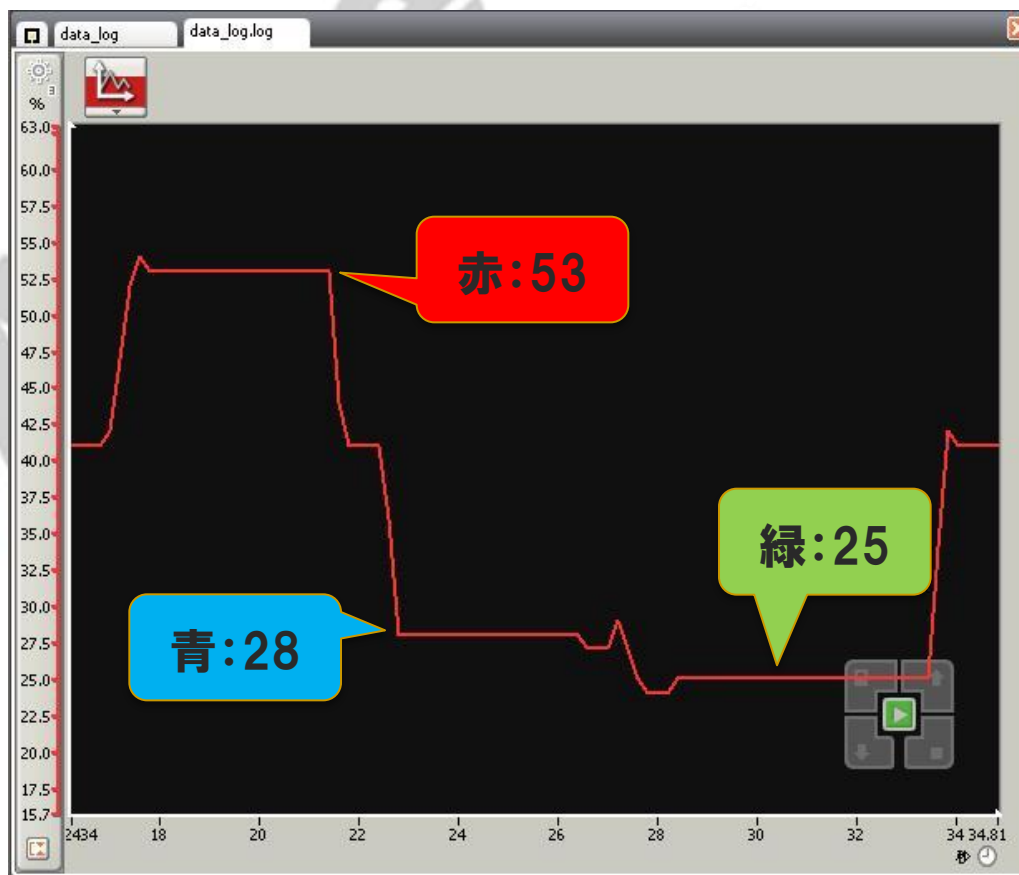
【動作環境】 (2011年5月6日現在)

- 対象OS
 - WindowsXP Professional+SP3
- ハードウェア
 - 教育用レゴ マインドストームNXT
 - 光センサ
- ソフトウェア
 - 教育用NXTソフトウェアver2.1
 - ※教育用NXTソフトウェアver2.1は、WindowsXP、WindowsVista、Windows7に対応しています。
 - ※教育用NXTソフトウェアver2.1は、MacOSX v10.4、v10.5、v10.6に対応しています。
 - ※ディスプレイの解像度は、XGA(1024×768)以上が必要です。
 - 教育用NXTソフトウェアver2.0
 - ※教育用NXTソフトウェアver2.0は、WindowsXP、WindowsVistaに対応しています。
 - Windows7については、当社において簡単な動作確認はできておりますが、当社では動作保証はいたしかねます。
 - ※教育用NXTソフトウェアver2.0は、MacOSX v10.3.9、v10.4、v10.5に対応しています。
 - ※ディスプレイの解像度は、XGA(1024×768)以上が必要です。
- 実験環境
 - カラーブロックと、光センサの距離を一定に保ち、それぞれのカラーブロックを入れ替えて測定及び、動作確認をする。

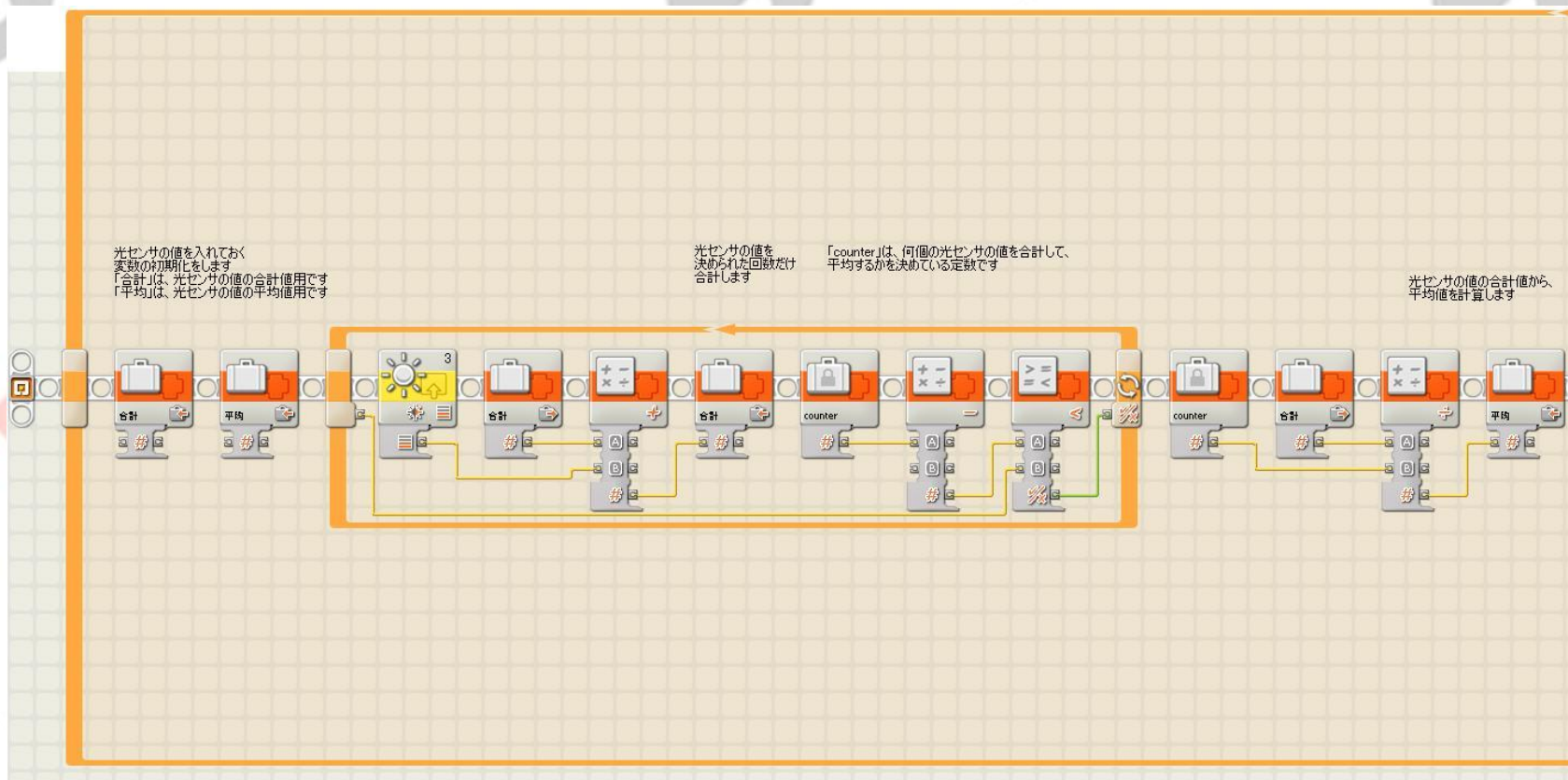


光センサで色の値をロギングする

- 教育用NXTソフトウェアで、「赤」「青」「緑」ブロックの色は、光センサの値として、どのような値を取得するのか調べるために、データロギングをします。



- 光センサの値は、1回ではなく、数回（サンプルでは3回）取得して、その平均値を求めています。



■ データロギングの結果から、明るさが45より大きいときは、「赤」。明るさが45以下で、27より大きいときは「青」。明るさが27以下のときは「緑」と判断するプログラムです。

